
夜の月の零時～ラジオ、ＴＶ的な？～

夜月 零

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜の月の零時～ラジオ、TV的な～

【Zコード】

Z3346BA

【作者名】

夜月 零

【あらすじ】

ラジオ？TV？的なを書いてみました！！！
みなさんのリクエストお待ちしております！！！

あけまして、まじめまじめ。

あけましておめでとうございます！！！！

夜月です。夜月 零です！！！

これからラジオ？TV？的なものを書いていこうかなあ～と思つて

います（^〇^）／

さつそくですが、自己紹介をしまじょうか、

もちろんパーソナリティの夜月 零【男のまつ】ですが、一人じゃ

さびしいのでもう一人！！！

親友の朝月 悠くんでお送りしてこいつかなつて思います。

え？何をするかつて？？

毎回ゲスト（夜月の書いたもしくは、リクエストでほかの作者さんのキャラ）をお呼びして、みなさんからもいろいろお悩み、相談などをキャラクターならではの解決方法をお話したり、

普通にぐだぐだなお話をしたり、など色々やつたいと想つております。

メッセージをぜひひお待ちしておつます！！！！

メッセージ内容は、何でもいいです。

匿名希望の人は匿名だと教えてください絶対秘密にしますと約束します！！！

や、やつそく始めましょつか、

零「どーも、夜月です。」

?「――おわー朝月 悠です。初めまして――」これからよろしくね！」

零「はいはい、とってもこじりがいがあるのやつなのでそりそり

「うもよろしくだな、

「（一〇〇度）ノリカツ」

零「そんな」と呟き、ついでに「始めるか！」

は、悠一：ま、いいか、じゃ、ゲストを紹介しましょう、今回のゲスト

「語のアリアチャンと夜さんでーすー！」
Cross Guards
？」
匂の國の物

アリアー「んには！」

夜 - こんにちは -

最初はアリヤさんと夜が来てくれましたー！！

急就篇

卷之三

アリア「いえいえ、新鮮ですよドラマ以外ここに出来るのは、逆につ
れしいです！――」

ちなみに私が書いている小説のキャラはみんな役者さんというふうにお送りしているつもりです。

夜「そうだな、一応気になつたんだが、何で急にラジオ？ＴＶ？的なのをはじめたんだ？」

零「あつと、あのー、・・・・・」

悠「あ、それ僕も気になつた！何で？？」

零「それはその…俺が小説を出すのがおそいのでそれまでラジオ？TV？的なで、

楽しんでもらえたらなあつて…」

夜「逆効果じゃないか？」

夜「はい、よくかんがえたうけつなんですねナビ…・・・いいかなつて

アリア「まーまーいじやないですか、 もれ、 本編に参りまじゅう

「

零「あらがとう、 あらあさん(*^__^*)」

夜「本編って何するんだ？」

悠「はいはーいそれは僕が！最初なのでゲストの私生活などの細かなお話をじてここうかなあつて思います」

零「やつやくですが、 みなさんほどんな私生活をしてるんですか、」

夜「俺は、」

零「夜はー、やつ」

夜「何でー？」

零「お前は知ってるから」

悠「はいはい、すいませんねえ……皆さんは知らないでしょ？ うが一応、

零と夜は仲良しなんですよ、すみませんわかりますりへねえ」

アリア「そんなこと言わずに、聞きましたよ、」

悠「ほらほら～ゲストにフォローされちゃつた～…」

零「……（――）」

ガツンッ

悠「痛つっ！ 痛いよつマイクでたたかないで～…」

夜「おい、進める気はあるのか？」のラジオは？？

悠「多分…？」

零「心配なく…こつもこんな感じで進めっこつかなって？」

夜「友人として心配だな…」

アリア「そうですね、」

悠「大丈夫ですよ…」

カンペ【アリアさん、夜さん、もうすぐ出番ですよ…】

アリア「えーもうですか!?」

夜「もうか・・・、」

悠「じゃ、最後に宣伝をーー！」

アリア「はい、私たちが演じる
四つの国のお話 Cross Guardian

を一そばに置いてお願いします。」

夜「いよいよ盛り上がり始めたので、これからもよろしくなーーで

零「はい、今日のゲストの Cross Guardians
四つの国の物語
の夜とアリアさんでお送りしました！ありがとうございました？」

11

悠 「また来てねえ～！！」

タツタツタツ

悠「行つちやいましたねえ、」

零「行つちゃつたな、あ、そうそうお知らせが！」

「何でしょう？？？」

零「なんと次口ケラしいぞ！」

悠「まじで！？」で、どう行くの？？

カンペ【遊園地です。】

零「えーと、遊園地だつてさ、」

「マジで！？」で、ゲストは？？？」

零「それはまだ分からぬいそうだ、」

悠一 そうなんだ、あ、僕もお知らせがあるだつた。

零 一 なんだ?」

悠一 全国の小説家になろうの作家さん、出してほしいキャラがありましたらメッセでお送りください!!

宣伝はもちらんします!! つてカンペ!! 。

零「あ、アレ書いたの俺だ、」

「あーだから字をつたねえのか」

零「……」

ボカボカツツ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3346ba/>

夜の月の零時～ラジオ、TV的な？～

2012年1月8日18時47分発行